

令和5年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

 YURIKAGO 通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 《5月号》

R5. 4. 25 東京ゆりかご幼稚園



2週間を経て

本年度がスタートし、2週間が経ちました。新入園児さんも園に慣れ、徐々に活動の範囲を広げ、園庭の隅々まで笑い声が響いております。春の園庭では、様々な草花や生き物が活発に動き出す様子に出会い、先生や友だちと発見と感動を繰り返しながら、互いに気持ちを通わせ、仲よくなっていく様子がみられます。

年中・年長の進級児さんは、1人1人が「小さな先生」になって、新入園児さんの手を取り教室まで連れて行ってあげたり、泣いている子にそっと声を掛けてあげたりする様子も見られ、とても頼もしい様子が見られます。

クラス内の関係が作られていくと同時に、徐々に他のクラスや他の学年との交流を通して、幼稚園の皆が助け合い、協力し合い、仲良く過ごしていけるようになっていきます。こうして「互いを思いやる気持ち」が園全体に広がっていく事を願っています。

また、環境が変わり**疲れが出てくる時期**ですので、ご家庭では**十分に休息**を取り、また幼稚園の生活や活動に元気に取り組むことができるようご協力をお願いいたします。



ゆりかごガーデン

ホール前の園庭に「ゆりかごガーデン」という遊び場を作りました。うさぎ組（満3歳児・2歳児）、ひよこ組（ナーサリー1・2歳児）、もも組（小規模保育所1・2歳児）など、低年齢児の遊び場が少ないため、園舎から近い場所にガーデン風の遊び場として設置しました。もちろん年少以上も遊べます。

ドイツ発祥の「幼稚園」は、ドイツ語で“キンダーガーデン”と呼びますが、このガーデンは「庭」のこと。つまり「子どもの庭」が幼稚園の本来の意味でした。明治9年に日本初の幼稚園「東京女子師範学校附属幼稚園（現在のお茶の水女子大学附属幼稚園）」が設立されましたが、当時書かれた「幼稚園創立法」には「山谷田園池沼島等を築造し」と記され、また「幼稚園保育法」には、「遊園内（園庭）には、なるべく自然地理の要素を多く備えて**自然界の完全なる小模型**たるに適せしむべきなり」と記されています。

Yurikagoの園庭はこうした考えを尊重しながら作っております。

「ゆりかごガーデン」も同様です。



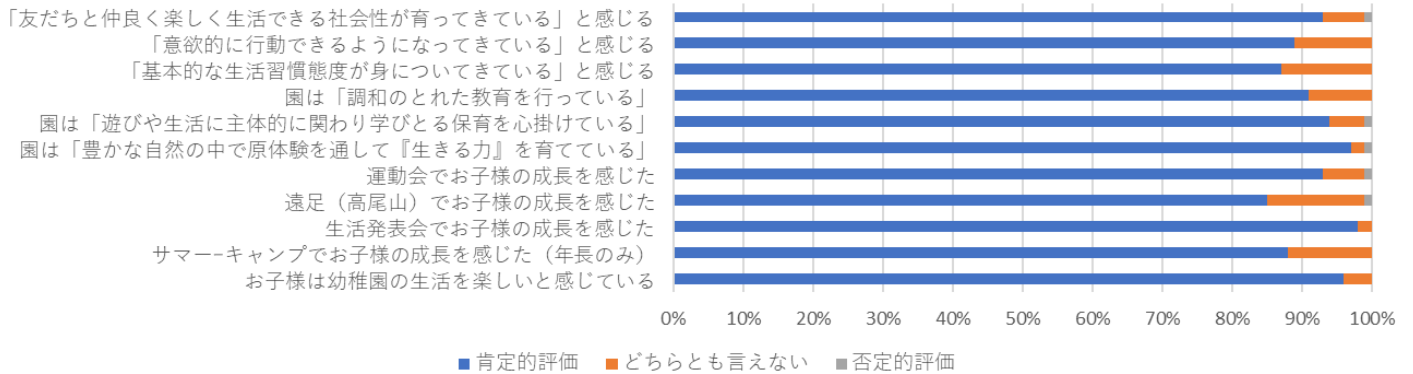
<お願い>

●降園時に遊びたくなる場所に設置してありますが、「幼稚園の時間」と「ご家庭の時間」との**“切り替え”**ができるようになることも、子どもにとって大切なことです。かえるコースでお迎えの際は、**定時の2時20分にはお帰りを**するようにしましょう。また、お子様から**目を離さないよう**にしましょう。ご協力をお願いいたします。

令和4年度アンケート調査ご報告

3月に、令和4年度在籍の保護者の皆様にご協力いただきました「教育の質アンケート」は、172名の方からご回答いただきました（回答率70%）。多くの項目で肯定的評価をいただきましたが、課題点については精査し更なる質の向上に繋げるよう取り組んで参ります。ご協力、ありがとうございました。

教育の質アンケート



園舎の増築計画

既にお知らせの通り、以下の内容で園舎の増築を行います。また、8月の竣工後には、各クラスの移動を行います。詳細は下図の通りです。安全を第一に、また保育にできるだけ支障のないよう工事を行って参りますので、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

- 工期：5月中旬～8月20日予定
- 場所：保育室棟の東端「ふじ組」の隣
- 増築内容：保育室1室、倉庫、用務室

※8月20日の竣工後、現在の保育室が1部屋ずつ東に移動します。

※現在のうさぎ組は「うさぎ1組」、現在のれんげ組は「うさぎ2組」となる予定です。

<現在の配置>

職員室	れんげ	つくし	ゆり	たんぽぽ	つばき	あじさい	うめ	みずき	たけ	ふじ
-----	-----	-----	----	------	-----	------	----	-----	----	----

増築箇所

<増築後の配置>

職員室	うさぎ2	れんげ	つくし	ゆり	たんぽぽ	つばき	あじさい	うめ	みずき	たけ	ふじ	倉庫 用務室
-----	------	-----	-----	----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----------

～学年の様子について～

☆年少さん・・・

新入園のお子様も園生活に徐々に慣れ始めたことでしょう。しかし、お子様によっては環境の変化に一生懸命慣れよう、ついていこうと気を張るあまりに、疲れが出たり大泣きをしたり、これまでになくお母様に甘えたりするといった反動が現れてくる時期です。

特に午後保育も始まり、これまでの家庭生活とのギャップに身体も心も少しずつ疲れを感じる頃、帰宅後は十分に休息を取り、ご家庭の温かな愛情で包んであげてください。また、併せて毎日幼稚園に頑張っているお子様をほめていただき、5月、いよいよ広がりをもせる園生活に前向きに取り組めるよう励ましてあげてください。

なお、長いゴールデンウィークには家庭で親御さんの愛情をたっぷり受け、明けには「幼稚園に行きたくない」といった声も聞かれるかもしれません。4月上旬の様子に戻ってしまうお子さまも多くいらっしゃいます。慌てずにゆっくりと見守っていきたくと思いますので、お子様の様子に変化などがありましたらどうぞ担任までお知らせください。



☆年中さん・・・

年中さんは、年少さんとの環境の変化に戸惑いを見せ不安になったり、友達との関係が深まっていく過程で、今までと違った様々なケンカも出てくる時期です。幼稚園生活3年間で最も難しくまた大切な時期であるといっても過言ではありません。しかし、この時期の様々な葛藤が成長の証でもあり、周囲の大人が無理にこども同士の関係を引き離したり、避けてやり過ごすことは、子どもたちにとって何の解決にもなりません。子ども自身が正面から取り組み、頑張っている姿を見守り、勇気づけ、そっとサポートしていくことが大切と考えます。我々保育者も子ども達の「自分で向き合い、乗り越えようとする力」を信じサポートして参ります。



☆年長さん・・・

幼稚園生活を通して大きく花開く時期。特に2学期の運動会、3学期の生活発表会のように、クラスの皆で力を合わせ何かを成し遂げるといった協同的活動が活発になり、その過程では協調性や思いやりなどを伴った“集団における問題解決能力”が大きく育っていきます。

また、身体能力と並行して「少しのことでへこたれない」精神的な強さ、逞しさ、忍耐力が育っていきます。更に、自然の変化や生き物等への関心も、感覚的に捉えるだけでなく、科学的な視点から観察したり、探求心を持って調べたり、自分なりに筋道をたてて考えることができるようになります。こうして徐々に小学校へ向けた土壌が完成されていきます。



保育の様子はSNSでも随時アップしていますので、ぜひご覧ください！ ⇒



Blog



Instagram



YouTube